

# 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和2年3月23日

事業所名:わだつみキッズ瑞江教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1		スペースを効率的に活かすため、各担当がプログラム内容を工夫。個別訓練時に適宜パーテーションを増やすなどの工夫が必要
	2	職員の配置数は適切である	7		子どもが少ない際には威圧的にならないよう調整	大規模な自然災害等にも対応できるような体制を目指す
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	ヒヤリハットした際は、予防対応を話し合い共有している。	入口での靴の脱ぎ履きを行いやすくするため椅子などを用意する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	毎日清掃している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	出勤の職員全員で努力し取り組んでいる	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	年1回独自の満足度調査を実施していたが、昨年度より、ガイドラインの保護者向け評価表により意向の把握、業務改善を実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	教室内待合スペースに設置、当教室のホームページへの掲載、「発達ナビ」でも評価結果が確認できるようにする。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		引き続き第三者による外部評価の受審も検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	4	児童発達支援センターでの研修受講や定期的にスーパーバイズを受けている。	定期的に外部研修に参加しつつ内部での伝達研修を実施していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	早々に聞き取りを行い評価し準備している。	保護者の意向やニーズ把握のため、定期的な保護者面談の機会を設定していく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	個別支援計画書を発達支援:家族支援:地域支援=3:1:1になるように構成しており、項目に基づいて支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	個別支援計画書に沿った支援を提供するため、実施記録、保護者へのフィードバック、職員による振り返りで実施状況を確認をしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	日々振り返りを行ってプログラム立案を行っている。	さらにチーム力を高めれるように取り組んでゆく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	大枠が同様でも、細かな点で難易度や手法を工夫している 日々の変化に合わせて臨機応変に対応	外部研修に参加しプログラムに変化や幅をもたせるよう取り組んでいく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	アセスメント結果と保護者の意向を確認し、個別療育または集団療育の提案をし、個別支援計画書を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	朝礼にて毎朝当日の予定お呼び担当を確認している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	日々振り返りの時間を設定しており、情報共有に努めている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	個別の療育記録に毎日記録し、振り返り記録、個別支援計画書へと検証・改善につなげている。	
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	保護者面談を実施し、個別支援計画書の評価を報告している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	定期的に健康サポートセンターや子ども家庭支援センター、発達相談センターに訪問し情報交換をしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	必要に応じて、保護者の依頼により発達支援情報提供書を発行し、支援内容の共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	必要に応じて、保護者の依頼により発達支援情報提供書を発行し、支援内容の共有を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5	他区の児童発達支援センターと連携し、スーパーバイズや専門的な指導・助言を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		交流の機会をもてる体制づくりに努める。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6		参加可能な会議等があれば積極的に参加していく	

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		待合スペースで過ごされている保護者とのコミュニケーションや担当職員とは療育後のフィードバック等も通じて共通理解を図っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3		保護者への専門的なプログラムとしての実施を検討していく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	運営規程は待合スペースに常備し、利用者負担等の重要事項は契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	児童発達支援ガイドラインを待合スペースに常備し、いつでも保護者が確認できるようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	ご利用日にはコミュニケーションを積極的にとり、必要な助言など随時行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		父母会等の組成希望があれば、支援を検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	個別対応を基本としており、日々コミュニケーションをとれる体制になっており、ご相談いただきやすい状況にしている。	引き続き気軽に相談できる体制と雰囲気創りに努めていきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4		活動概要や行事予定等を見える化し、情報発信に努めたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	書類は鍵付き書庫に保管している。	内部研修で周知徹底する。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		地域交流方法を検討し、地域に開かれた運営を推進していく。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	アセスメント時に確認している。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	食事提供は行っていない	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハットした際は、予防対応を話し合い共有している。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	教室の内外に公的に配布されるポスターなどを掲示して、喚起している。	内部研修実施時に虐待防止をテーマに取り組んでいく
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2	該当する子どもの利用はない。	